

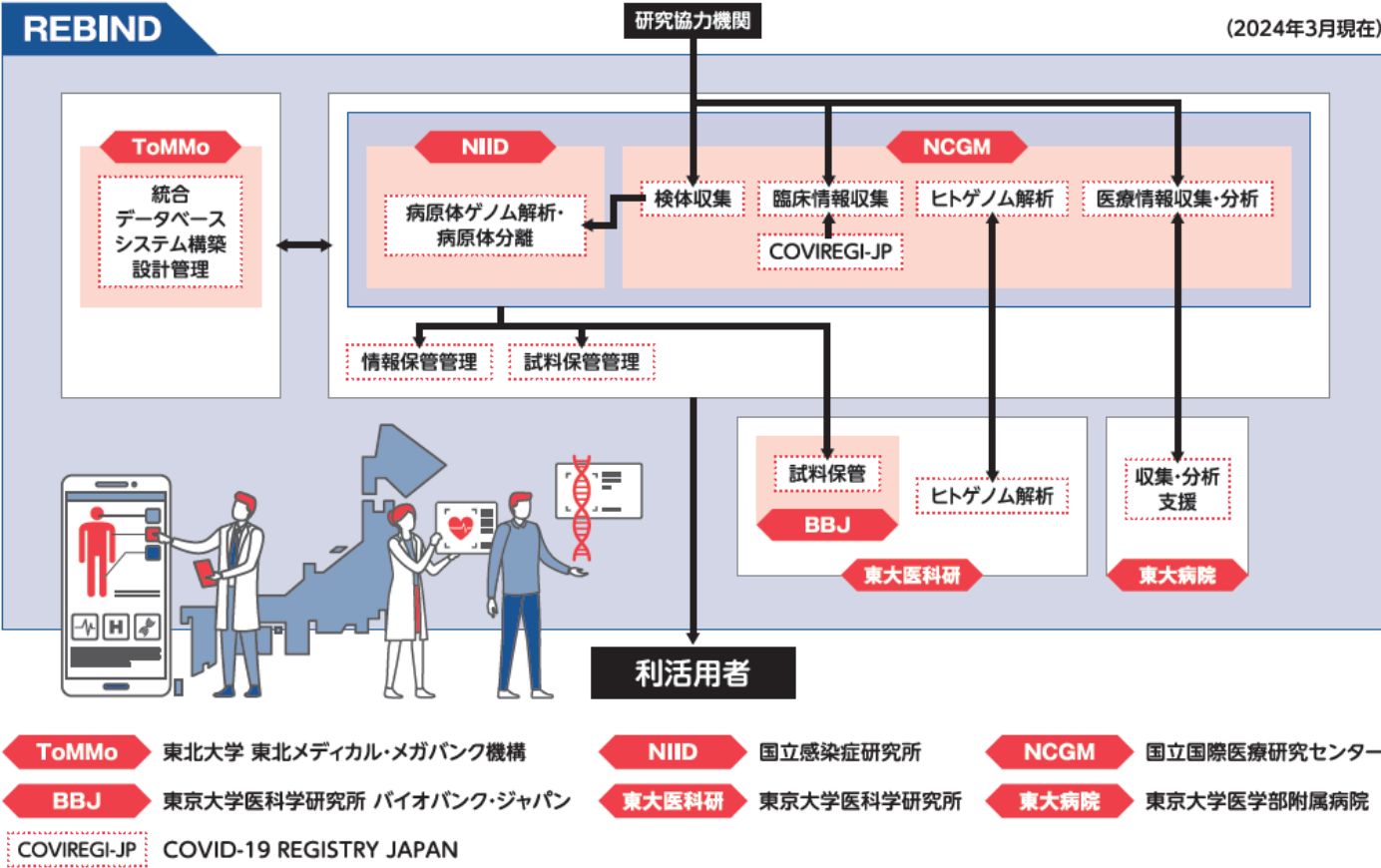
REBINDでは、試料・データの利活用を受付けています。

REBINDの概要

新興・再興感染症データバンク事業 ナショナル・リポジトリ（REBIND）は、厚生労働省の委託を受けた国立国際医療研究センターと、国立感染症研究所が連携して立ち上げた、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に代表される新興・再興感染症に対して、病態解明、重症化因子・予後因子の解明、診断や治療方法の改善、並びに、医薬品等の開発に資する研究を行うための基盤を提供することを目的としています。

臨床情報や血液などの検体を全国の医療機関から収集し、ヒトゲノム情報・病原体ゲノム情報や病原体の解析を行った結果とともに一元的に保管・管理し、前述の利活用を目的とする研究者に提供します。さまざまな医学研究や開発等に広く利活用されることで、感染症分野をはじめ、医学全般の進歩を促進させることを目指しています。

現在、REBINDではCOVID-19とエムボックス、小児肝炎を対象疾患としています。



利活用の基本方針

- 日本国内の研究機関・企業等に所属する研究者が利活用可能です。
- REBIND試料・データを利活用して得られた研究成果は利活用者に帰属します。
- 利活用の研究成果等を公表する際、REBINDのデータを利用した旨を謝辞及びmethodに記載していただきます。
- 使用料は企業・アカデミア問わず、REBINDの目的に合致している研究に関しては無償です。
ただし、試料・データ提供に必要な輸送費等を利活用者に負担していただきます。

- 利活用可能な臨床情報の抜粋は以下です。

基本情報	・年齢 ・性別 ・併存疾患 ・身長/体重 ・初診日/入院日/発症日
感染症に関する情報	・対象疾患の検査結果 ・その他病原体検査結果 ・対象疾患のワクチン接種歴
入院や治療に関する情報	・入院時症状 ・転帰 ・治療内容 ・入院経過（体温、SpO2、HRなど）

- ゲノム解析結果は下のファイルで解析することができます。

ヒト全ゲノム解析	・Rawリード FASTQ形式 要相談 ・マッピングデータ CRAM形式 要相談 ・ゲノム多型データ gVCF（Genomic Variant Call Format） VCF（Variant Call Format）
病原体ゲノム解析	・Rawリード FASTQ形式 ・ゲノム全塩基配列 FASTA形式 ・Nextcladeによる系統解析データ TSV形式, JSON形式

- 提供される症例数の目安は50症例です。
それ以上の使用を希望される場合は、利活用審査委員会にて研究に必要な症例数等を確認しますので、事務局にご相談ください。

各試料の1症例当たりの提供量の目安											
検体	血液						ぬぐい液 （鼻咽頭・皮膚等）	唾液			
採取日 目安	0日目※1		3日後		7日後		0日目※1	3日後	0日目※1	7日後	
試料	DNA	血漿	PB※2	血漿	PB※2	血漿	未処理	未処理	未処理	未処理	
量	10-20 μg	200 μl	5-50 x 10 ⁵ cells	200 μl	5-50 x 10 ⁵ cells	200 μl	200 μl	200 μl	200 μl	200 μl	

※1 入院日/診断日/同意日のいずれか ※2 PB：PBMC

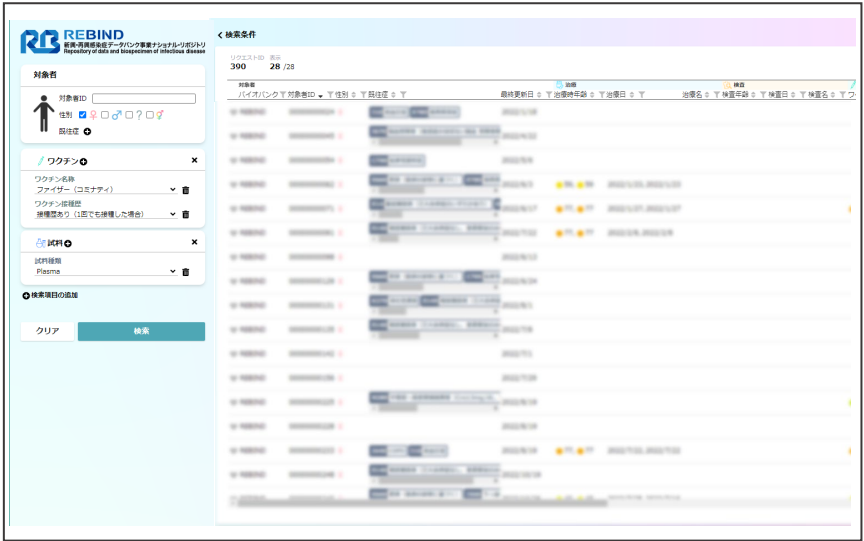
利活用の流れ

REBINDポータルサイトアカウント作成



REBINDポータルサイト
(<https://rebind.ncgm.go.jp/>)
では、試料・データの閲覧や、申請に関する書類をダウンロードすることができます。eラーニングを受講していただき、アカウント作成をお願いします。

ショーケース閲覧と利活用相談



REBINDショーケースからREBINDが保有する試料等の概要が把握できます。

また、利活用希望の試料・データがあるか、個別に相談を受け付けています。

REBIND利活用審査委員会にて審査

- 必要書類
- ・利活用申請書
（ポータルサイトよりダウンロードできます。）
 - ・研究計画書
 - ・倫理審査承認通知書の写し
 - ・誓約書
（ポータルサイトよりダウンロードできます。）

希望の試料等があった場合、ポータルサイトから利活用申請をお願いします。

REBIND利活用審査委員会による審査のために、研究計画書や倫理審査の承認通知書の写しなどが必要です。

契約の締結と試料発送



試料等提供のための契約を締結します。締結後、試料をREBIND検体管理倉庫から出庫、発送します。

輸送業者の手配と費用負担は利活用者にお願いしています。

REBINDデータ解析室



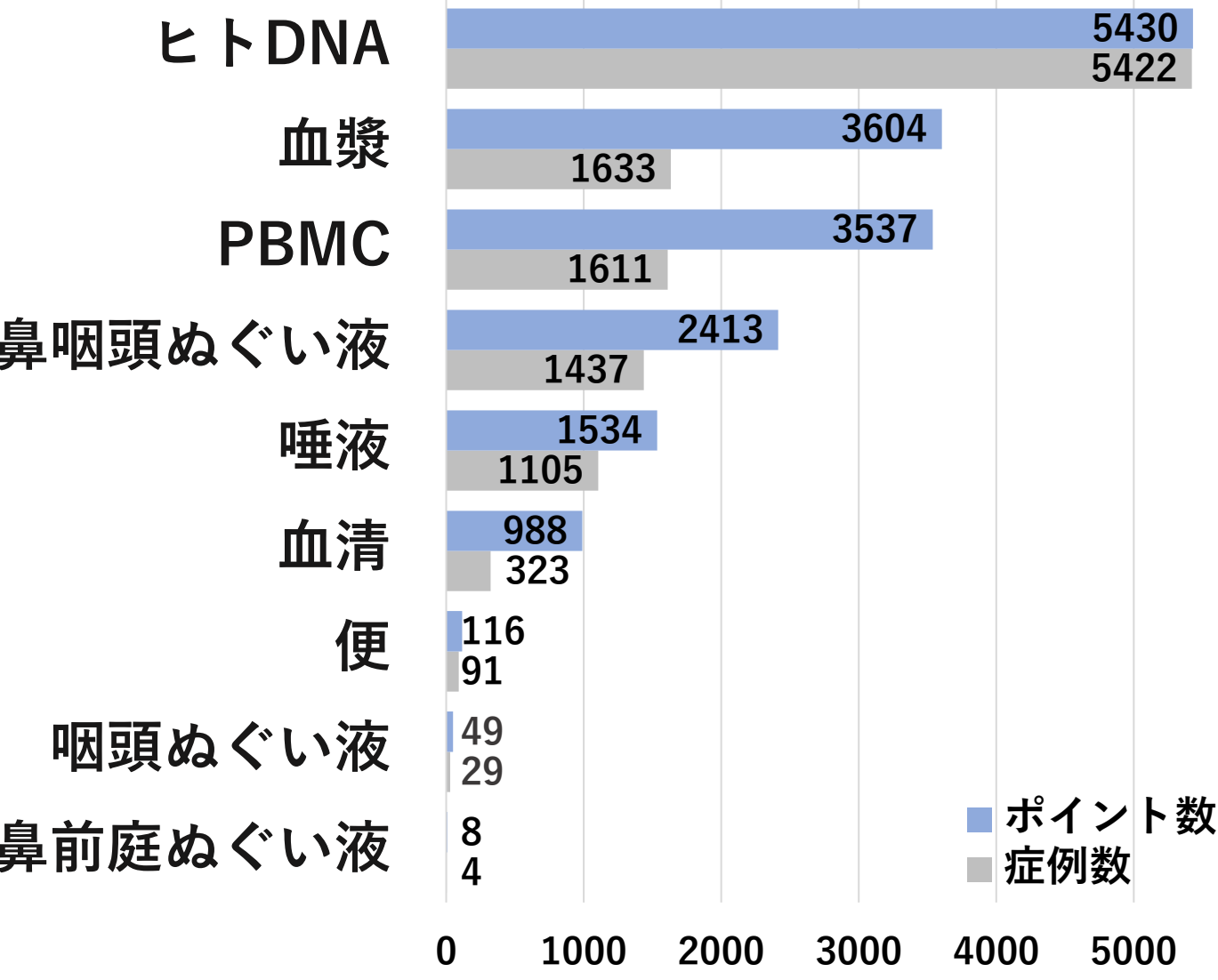
NCGMにある解析室でデータを解析いただきます。解析後のデータは手続きの上、お渡しすることができます。

REBINDでは、試料・データの利活用を受付けています。

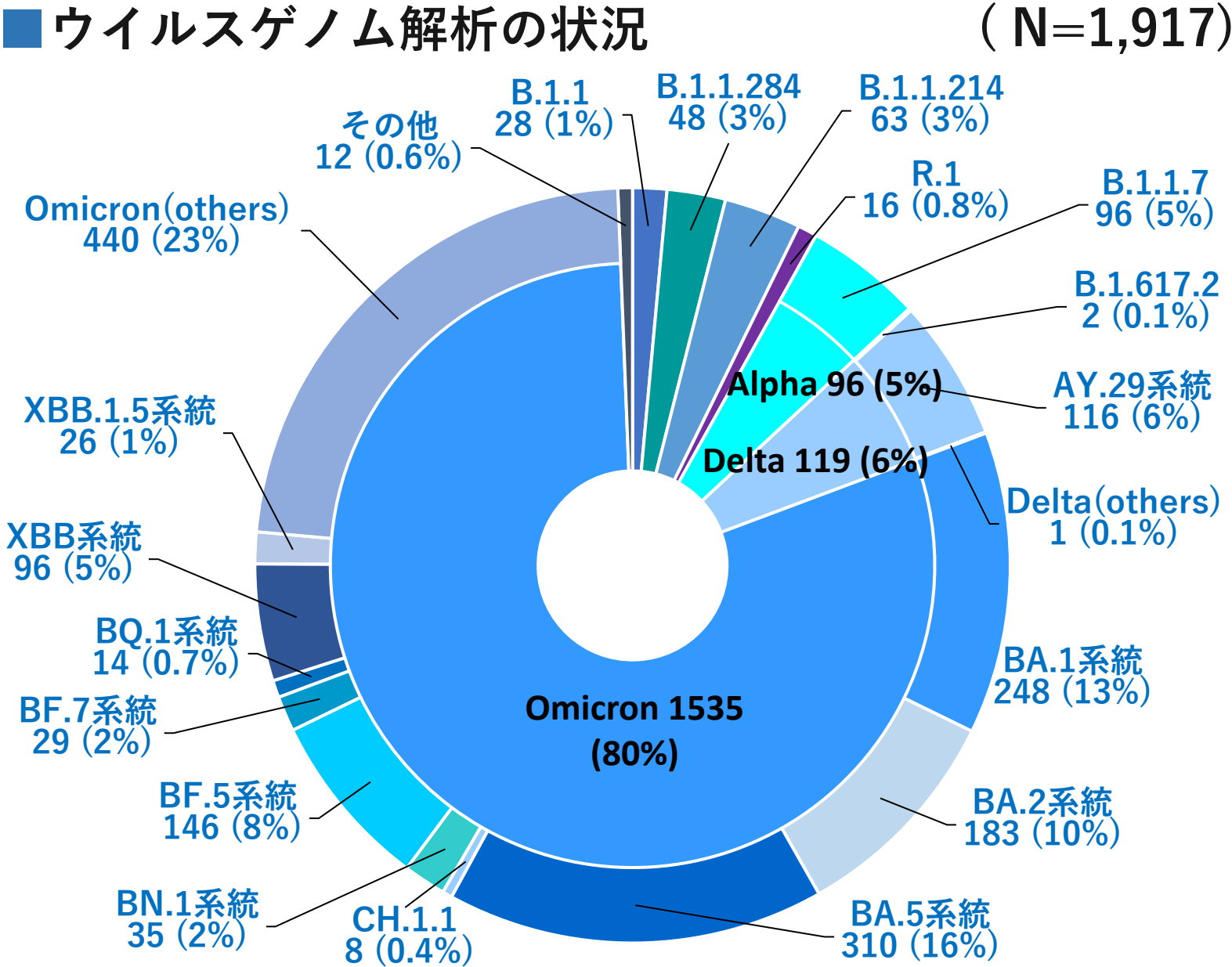
REBIND試料等の収集実績（2024年6月20日現在）

COVID-19

■ 試料収集の状況

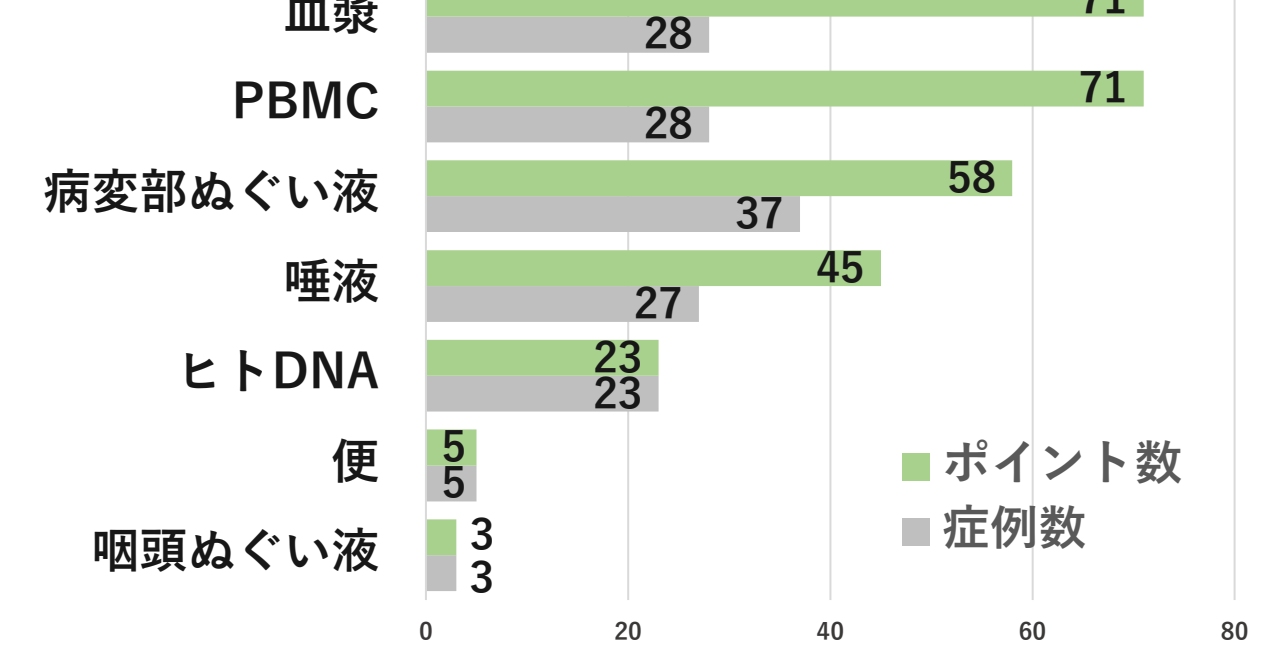


■ ウイルスゲノム解析の状況

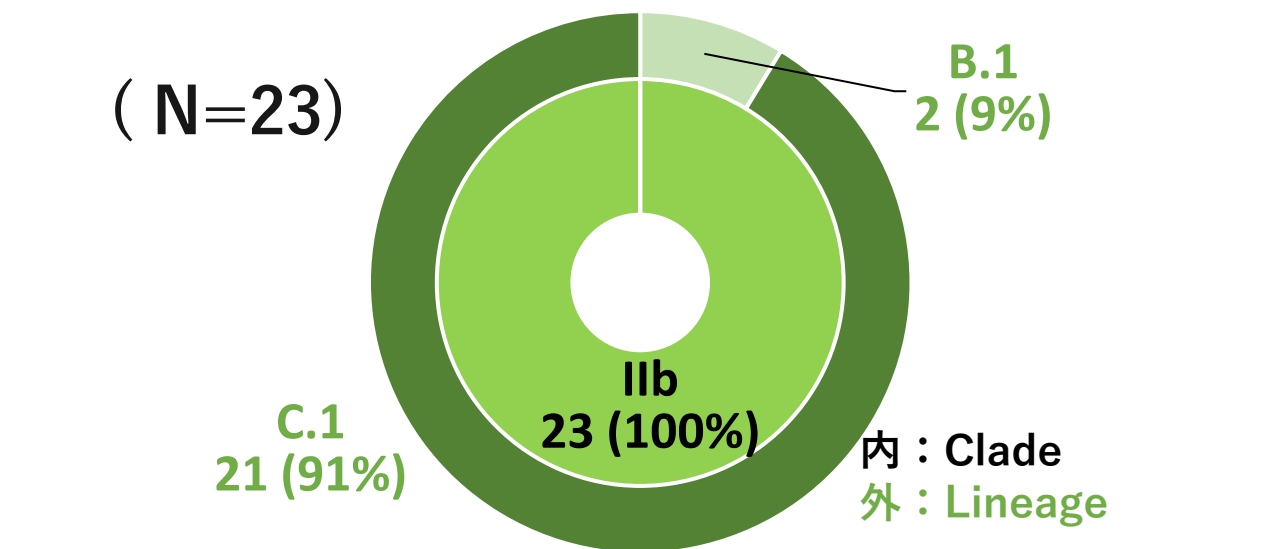


エムボックス

■ 試料収集の状況



■ ウイルスゲノム解析の状況



ヒト全ゲノム解析（COVID-19・エムボックス含む） 1,464例完了

REBINDの同意説明文書を用いた試料・データの収集

REBINDの同意説明文書を用いて、臨床情報や生体試料を前向きに収集し、研究協力機関等から提供いただいています。COVID-19 1,201症例、エムボックス34症例、小児肝炎1症例の登録をいただきました。

参加施設数 38施設（REBIND参加について施設許可が得られている施設）

都道府県	施設名
北海道	市立札幌病院 地域医療機能推進機構 北海道病院
青森県	青森県立中央病院
山形県	日本海総合病院
茨城県	古河総合病院
埼玉県	埼玉医科大学病院
千葉県	日本赤十字社 成田赤十字病院 国際医療福祉大学 成田病院 千葉大学医学部附属病院 国立国際医療研究センター 国府台病院
東京都	国立国際医療研究センター病院 地域医療振興協会 練馬光が丘病院 東京大学医科学研究所附属病院 東京都立荏原病院 帝京大学医学部附属病院 東京都立墨東病院
神奈川県	横浜市立大学附属病院 徳洲会湘南鎌倉総合病院 聖マリアンナ医科大学病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
長野県	国立病院機構 信州上田医療センター
愛知県	常滑市民病院 名古屋大学医学部附属病院 労働者健康安全機構 旭労災病院 日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院
京都府	京都府立医科大学附属病院
大阪府	りんくう総合医療センター 大阪市立総合医療センター
奈良県	奈良県立医科大学附属病院
岡山県	岡山大学病院
広島県	広島大学病院
福岡県	福岡東医療センター 福岡徳洲会病院
熊本県	恩賜財団済生会熊本病院 地域医療機能推進機構 人吉医療センター
長崎県	長崎大学病院
鹿児島県	鹿児島大学病院
	その他1施設

他研究からの受入れ 5課題

他の研究で収集した試料・データをREBINDにご提供いただき、研究者の皆様へ利活用していただきます。上記のグラフには、これら5課題からREBINDにご提供いただいた試料を含みます。

施設名	課題名
広島大学	「広島県のCOVID19-指定病院における新型コロナウイルス感染症患者の入院中及び退院後の病態に関する研究」
京都大学	「新興・再興感染症データバンク事業 ナショナル・リポジトリ【Repository of Data and Biospecimen of Infectious Disease (REBIND)】への検体提供」
慶應義塾大学	「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID19ワクチンの開発と評価系の構築」
国立国際医療研究センター病院	「新型コロナウイルス感染症（COVID 19）の前向き観察研究」 「『DiseaseXに備えた新興・再興感染症の前向き観察研究(X-pro)』からのサル痘の検体およびデータの受け入れ」

お問い合わせ先

REBIND利活用推進室

Email：rebind-rikatsuyo@hosp.ncgm.go.jp

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
TEL:03-5273-5239



REBINDポータルサイト
<https://rebind.ncgm.go.jp/>